2027年度PMからのメッセージ

氏名・所属：落合　陽一（メディアアーティスト／筑波大学 図書館情報メディア系 教授・デジタルネイチャー開発研究センター センター長／東京大学 大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻 複雑システム講座 デジタルネイチャー分野 准教授）



専門分野：

・ヒューマンコンピュータインタラクション
・デジタルファブリケーション
・計算機ホログラム（レーザー・超音波）
・ヴァーチャルリアリティ（視覚・聴覚・触覚）
・アクセシビリティ
・メディアアート

略歴：

2009年　未踏ユース上期
2010年　IPA未踏スーパークリエータ
2015年　東京大学学際情報学府博士課程修了
2015年　Pixie Dust Technologies. CEO
2015年　筑波大学図書館情報メディア系助教　デジタルネイチャー研究室主宰
2017年　筑波大学学長補佐（-2019）
2017年　筑波大学図書館情報メディア系准教授
2017年　JST CREST xDiversity プロジェクト研究代表
2018年　一般社団法人xDiversity 代表理事
2019年　内閣府「ムーンショット型研究開発制度」ビジョナリー会議委員
2020年　筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター センター長
2020年　大阪関西万博テーマ事業プロデューサー
2020年　文化庁文化交流使
2021年　内閣官房全世代型社会保障構築会議構成員
2022年　世界経済フォーラムヤンググローバルリーダーズ構成員
2025年　東京大学 大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻 複雑システム講座 デジタルネイチャー分野 准教授
2026年　筑波大学 図書館情報メディア系 教授

メッセージ：

応募テーマの作り込みはもちろん重要な要素ですが，テーマ以上に面白い人材になりそうかどうかを審査します．集中力と行動力と情報科学に立脚した深い世界認識・行動哲学・探究心が感じられることを大切にします．散らかったポートフォリオでも構いませんが，何かに対する強い熱量を感じさせる提案をお待ちします．

近年はコンピュータが安価になり，どこでもソフトウェアを開発できるようになってきました．ですので，やるべきことはすぐ始めましょう．「未踏で作るっていうけど，どうして君は始めてないの？」という質問をしないでよい提案をお待ちします．逆にいうと，「未踏で作らなくても君は作れているけれど，なんで未踏でやるんだっけ？」という質問に対して深い答えが返ってくることを期待します．

僕自身も未踏のクリエータでしたが，やる気ある人々に囲まれていくことはとても深い喜びがそこにありました．未踏のクリエータの頃から17年経ち，デジタルネイチャーの研究室を始めて12年経ち，多くのやる気ある若い人々に囲まれて楽しい日々を送ってくることができました．近頃の目標は，技術が雪崩のように進化する中で日々を楽しみながら，僕もモノを作り続けるために手をひたすら動かすことです．

ぜひこれは僕にはできないなぁと思わせるような，感動できる素晴らしい才能を見せにきてください．僕の仕事はそんな感動をより増幅して社会に共有することだと考えています．計算機による新しい自然をより味わい深く，より歓びに満ちたものにしていきましょう．

未踏の人材が作るモノは感動できる！　この喜びを共有しよう！

審査基準:

- 没入性とレジリエンス
  ライフテーマのようなものを持って持続的に24時間常に取り組んでいるようなものを期待します.
  ⇨ 無理をすると続かない. よく食べてよく寝て夢の中でも開発しよう！ 感動できる！
- 未踏性と時代の背景理解
  車輪の再発明でも良い. 時代の技術的生態系を踏まえてなぜ未踏になるのかを説明できることを期待します. 既存の技術やサービスと何が違うのか, 自分が何を新しく作るのかを, 試作や比較・検証を通して見せてください.
  ⇨ ロジカルに考える霞ヶ関文学と研究文化を楽しもう！ 感動できる！
- 共感性と巻き込み力
  作るものや本人自体に人を惹きつける能力があるかどうかをよくみています. フォロワーがいないとテクノロジーは社会に波及しません.
  ⇨ 日進月歩の計算機自然の喜びを共有しよう！ 感動できる！
- 落合陽一が感動できる！ かどうか
  あとは私が感動した順に並べて採択します.
- ライフテーマのクリエータを応援するのが楽しいので, これまでそのようなプロジェクトを採択してきました. 今回も基本的には同じ方針です.
- マンツーマンの指導を通して個人の才能を育てたいので, チームの提案よりも個人の提案を好みます.